



夢の星新聞 《1年生》

2026年8月3日（月）

発行 宇佐キャンパス

8月号 編集人：藤井・田所

8月号

宇佐市高校生議会で、真瑚が堂々と質問してくれました！！



7月21日（火）、宇佐市高校生議会が開催されました。本校からは生徒会長の森海斗くん、2年生の熊谷よつばさん、そして、我らが佐藤真瑚さんが参加してくれました。真瑚が質問したのは、宇佐市の情報発信と新規イベントについて。宇佐市で開催される様々なお祭り等の情報発信に関して、SNSをもっと活用し、更に強化すべきではないか？といった提言をしつつ、別府で開催されている、「ジゴロック」や「温泉ぶっかけフェス」のような野外音楽イベントを、宇佐市でも実現できないのか？といった質問をしてくれました。残念ながら、宇佐市からは「検討してまいります」といった、当たり障りのない回答しかもらえ

ませんでしたが、こういったことを考え、実際の議場で、堂々と自分たちの意見を述べることで自らが意義のあることだと思えます。真瑚は今回、良い経験をしたのではないかと思います。来年は是非、皆さんの中から率先して「私が出ます！」と手を挙げてくれる人が出てくることを期待しています！まずは、真瑚、お疲れ様でした（^v^）/

卒業生の河野維冴くん、進学した専門学校を卒業し、大分市内のこども園で活躍しています！

2024年3月に本校を卒業した河野維冴くんは、行橋市にある北九州保育福祉専門学校に進学して保育士の資格を取得し、今年の4月からは大分市内にある「明野台こども園」というこども園で活躍しています。彼はもともと電車にも一人で乗れない生徒でした。この学校に入学してから、彼の中に少しずつ変化が生まれ、エネルギーがたまり、今では立派な保育士です。彼は本校に対して、「これまでは辛い、苦しいといった心情で生きていましたが、この学校に出会い、自分の中でステップアップしていく中で、今では子供たちを教え導く、楽しく遊ぶといった保育士になることができました！」といったコメントを寄せてくれています。本校HPの「卒業生の声」にその全文をUPしていますので、是非見てみてください！皆さんも彼のように、「自分らしい進路」を見つけて下さい！



担任から、ひとこと

目標をもって日々過ごし、自己成長に繋げよう！

3者面談で、皆さんそれぞれ12月末までの半期目標を決めてもらいました。この学校は通信制なので毎日登校する必要はありません。だからこそ、自分自身の中で、何某かの目標をもって過ごしていけないと、安易な方向に流されてしまいがちになると思います。高校での3年間は、あっという間です。そして、社会に出る前段階の貴重な時間です。だからこそ、この3年間を自分自身の自己成長

のために、有効に過ごして欲しい。自分で決めた目標です。出来たかどうかは、年明けに振り返りを行いますが、まずは、愚直にやってみる！を実践してください！



副担任から、ひとこと

●被爆、終戦から81年を迎える今

昨年被爆、そして終戦から80年を迎える節目の年でした。なので今年は、81年目となります。広島・長崎には人類史上初めて原子爆弾による壊滅的な被害を受け、多くの人の尊い命が犠牲となりました。地球上には未だに1万2千発を超える核兵器が存在します。核兵器のない平和な世界を実現するために、現代に生きる私たちには何ができるのでしょうか。あの時の戦争、どんな思いでその時生きていたのか。思いを馳せることは、とても大切なことです。この宇佐にも宇佐海軍飛行場がありました。そんな戦争遺構の見学も自分事として考えるチャンスとなるでしょう。

